

**福島県環境創造センター交流棟（コミュタン福島）に係る
見学・体験学習プログラム**

作成推進校		金山町立金山中学校
対象児童・生徒		中学校 全学年
事前学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、放射性物質が飛散し、福島県が大きな被害を受けたことを理解させる。 ○ 放射線に関する基礎的な知識を学習し、放射線の影響により、福島県が原子力エネルギーに頼らない「再生可能エネルギー」への転換を目指していることを理解させる。
	期待できる成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に、東京電力福島第一原子力発電所の事故の概要と放射線に関する基礎知識を学習させる。さらに発展的な課題を生徒にワークシートで与え、その解決手段として福島県環境創造センター（コミュタン福島）での活動を位置づけることで、より主体的な課題解決学習を行うことができる。
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福島県環境創造センター（コミュタン福島）の見学を通して、東京電力福島第一原子力発電所の事故の概要と放射線に関する基礎知識を確認するとともに、ワークシートの課題を解決するための調べ学習を各班ごとに行わせる。 ○ 再生可能エネルギー（風力発電）の体験活動を通して、再生可能エネルギーの基礎的事項の確認を行う。
	期待できる成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートの課題を解決する調べ学習を通して、放射線に関する基礎的・発展的な知識を定着させることができる。 ○ 東京電力福島第一原子力発電所の事故の概要を改めて学習することで、福島県の現状と放射線との向き合い方、環境の回復に向けた取組について理解することができる。
事後学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福島県の復興への歩みと再生可能エネルギーの可能性を関連づけて理解することができる。
	期待できる成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福島県が「再生可能エネルギーの先駆けの地」であることを、東京電力福島第一原子力発電所の事故と福島県の復興の歩みを通して理解を深めることができる。

福島県環境創造センター (コミュタン福島)

見学のしおり

平成29年7月19日(水)

金山町立金山中学校

年	名前
---	----

テーマ 「福島だからこそ描くことのできる未来の姿」
～原子力に頼らない社会を目指し、再生可能エネルギーで世界へ貢献しよう～

【コミュタン福島で調べよう】

- 1 α (アルファ) 線とは、どんな放射線か。

- 2 β (ベータ) 線とは、どんな放射線か。

- 3 γ (ガンマ) 線とは、どんな放射線か。

- 4 α (アルファ) 線、 β (ベータ) 線、 γ (ガンマ) 線は、何で止めることができるか。
 α (アルファ) 線 ()
 β (ベータ) 線 ()
 γ (ガンマ) 線 ()
- 5 ベクレルとは、何か。

- 6 シーベルトとは、何か。

- 7 $0.2 \text{ mSv} = () \mu \text{ Sv}$

- 8 「カリ肥料」、「花崗 (カコウ) 岩」、「湯のはな」の中で、放射線量が一番高いのはどれか。

- 9 放射線から身を守る三原則は何か。
()
()
()

10 セシウム134は、放射線を出して何に変わるか。

11 福島第一原子力発電所1～4号機に排気筒は何本あるか。

() 本

12 福島第一原発2号機は、なぜ、水素爆発しなかったのか。

13 福島第一原発4号機は、点検中（原子炉に燃料棒がない）のに、なぜ、水素爆発したのか。

14 レントゲンと放射線は同じものか。

()

15 放射線は、遺伝子を傷つけるか。

()

班で調べる「再生可能エネルギー」

について

【コミュタン福島で調べよう】

《長所》

《短所》